



令和 5 年 8 月 31 日

岡山大学病院に「パラアスリートヘルスケア外来」を開設

岡山大学病院は9月5日から、総合内科・総合診療科内にパラアスリートのメディカルチェックを担当する専門外来「パラアスリートヘルスケア外来」を開設します。総合国際大会に出場するパラアスリートは年1回、日本パラスポーツ協会が指定する医師の診断書を作成する必要があります。診断書作成にあたり血液検査など様々な臨床検査を実施しますが、パラアスリートは中高年の選手や生活習慣病を有する選手もいて、内科的健診や診療が重要です。また、選手の障害や症状によっては、より多面的な評価や介入が必要になる場合もあります。

日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ医の資格を持ち、2017年から日本肢体不自由者卓球協会のチームドクターを務める大野洋平助教（岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座）が、今年度より本学に着任したことから、大野助教のこれまでの経験と当院総合内科・総合診療科の強みを活かして、中四国地域のパラアスリートのメディカルチェック（健康診断）に対応できる外来を開設することとなりました。当院に「パラアスリートヘルスケア外来」を設置することで、パラスポーツ界ならびにスポーツ医学発展への貢献が期待できると考えています。

<現状>

総合国際大会に出場するパラアスリートは毎年1回医療機関を受診し、日本パラスポーツ協会が指定する書式の医師診断書を作成する必要があります。診断書作成に必要な検査には、血液検査、尿検査、心電図検査、胸部レントゲン検査、呼吸機能検査がありますが、パラアスリートはオリンピックのイメージとは異なり、中高年の選手や生活習慣病を有する選手もいて、年1回の受診だけでなく日々の内科的健診や診療を継続的に受けることが重要です。

また、それぞれの選手の障害の度合いや症状によっては、より多面的な評価や介入が必要になる場合もあるため、多岐にわたる診療科やリハビリテーションを担う療法士との連携が必要になります。

<開設の経緯>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座の大野洋平助教は、2017年から（一般社団法人）日本肢体不自由者卓球協会のチームドクターを務めており、パラ卓球の日本代表選手のメディカルサポートやクラス分けなどを担当してきました。2020年には日本パラスポーツ協会公認のパラスポーツ医の資格も取得し、障がい者への医学的管理・支援を通じて選手の競技力向上に寄与しています。

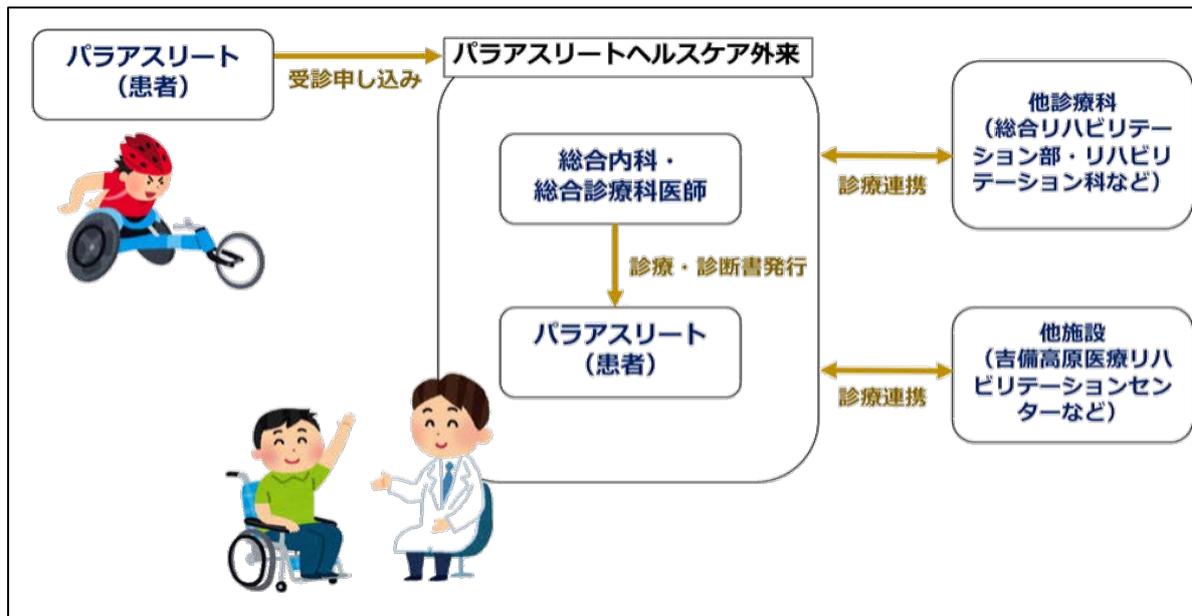
一方、岡山大学病院総合内科・総合診療科は内科疾患全般に対応し、複数の病気を持つ患者さんや、単独の専門科だけでは対応が難しい全身的な評価や早急な初期治療が必要な状態の患者さんにも広く対応していることが特徴で、他の専門診療科とのスムーズな連携体制が整っています。



PRESS RELEASE

今年度から大野助教が同講座に着任し、双方の強みを活かした診療体制がしっかりと構築されたことから、中四国地域のパラアスリートのメディカルチェック（健康診断）に対応できる外来を開設するに至りました。

パラアスリートヘルスケア外来では、院内の他診療科、特に総合リハビリテーション部・リハビリテーション科の医師や療法士と連携し対応します。さらに必要な場合には、吉備高原医療リハビリテーションセンター（加賀郡吉備中央町）などの専門施設とも連携して診療します。



<社会的な意義>

岡山大学病院にパラアスリートのメディカルチェックを行う専門外来を設置することで、日本パラスポーツ協会から協力医療機関としての認定を受けられます。協力医療機関は現在、中四国地域には鳥取県内に2カ所しかなく、国立大学附属病院で設置している機関もそれほど多くはありません。パラスポーツ普及の観点からも、当院に特徴あるユニークな外来を設置することで、パラスポーツ界のみならず国内のスポーツ医学発展への貢献が期待できると考えています。





PRESS RELEASE

～パラアスリートヘルスケア外来（総合内科・総合診療科）について～

【診療体制】

- ◆対象：15歳以上の身体障害または知的障害のあるパラアスリート
(原則として国際大会出場レベルの選手)
- ◆診療日：毎週火曜日午後（完全予約制）
- ◆担当医：大野洋平（日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ医、リハビリテーション専門医、日本内科学会認定内科医）

【診療内容】

- ◆パラアスリートのメディカルチェック（健康診断）／日本パラスポーツ協会指定の医師診断書作成
- ◆パラアスリートの医療的支援／生活習慣病の予防や治療、ドーピング対策
- ◆クラス分けの診断書（Medical Diagnostic Form：MDF※）の作成
※MDFは肢体不自由クラスの方対象

【受診の流れ】

受診には「事前問診票」の提出が必要。病院公式ホームページより「パラアスリートヘルスケア外来」(<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index459.html>)にアクセスして、《事前問診票》をダウンロードし、必要事項を記入して総合内科・総合診療科外来へFAXまたは郵送する。

担当医が事前問診票を確認後、本人と受診日程を決める。

※事前問診票の受信から折り返しの連絡まで1週間程度かかる可能性があるため、余裕を持って申し込むこと。

＜お問い合わせ＞

岡山大学病院 総合内科・総合診療科
教授 大塚 文男 助教 大野 洋平
(電話番号) 086-235-7342



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。